

今年度、2年目を迎えた「ヒューマンライツ・フェスタ東京 2016」。

「障害者の人権」をメインテーマに、シンポジウムやダンス・フェスタ、障害者スポーツ体験、大学生プレゼンコンテストなど様々なプログラムを展開しました。また、今年は、北朝鮮拉致問題解決を願う都民集会、ヒューマン”お笑い“フェスタなど、新たなプログラムも実施しました。

多くの方々にご参加いただき、また、人権について考える機会を提供することができ、まさに“東京が人権の輪になる3日間”となりました！！

11月4日（金）

【ホール D7】

- ・シンポジウム 「障害への更なる理解に向けて」
- ・パネルディスカッション

「障害のある人もない人も共に生きる東京へ！～障害者差別解消法について考える～」

いずれも有識者等による活発な議論が展開され、大変有意義なプログラムとなりました。熊谷晋一郎さんの基調講演や書家の金澤翔子さんによる大迫力の揮ごう、都知事からのメッセージ、共生社会・障害者差別解消法をテーマとしたパネルディスカッションなど盛りだくさんの内容となりました。



(シンポジウム、パネルディスカッションの様子)

【ホール D1】

- ・同和問題セミナー 「部落差別をこえて～取材ノートから」
- ・企業セミナー

「元気発信！イキイキ職場から“ダイバーシティ社会”へ～企業の障害者活躍推進に向けた取組～」

同和問題セミナーは元朝日新聞論説委員 臼井敏男さんによる講演、企業セミナーは資生堂ジャパン(株)及び(株)日立製作所の取組を紹介。いずれも大盛況のセミナーとなりました。



(同和問題セミナー、企業セミナーの様子)

【ロビーギャラリー】

・東京都人権プラザ出張展示「みんなのスポーツ」

リオパラリンピックで日本が銀メダルを獲得した競技「ボッチャ」の体験などを実施。体験した方々はもちろん、「あれってボッチャだよね！」と興味津々にブースをご覧になっている方々も。



11月5日(土)

【ホールD7】

・ヒューマン・ダンス・フェスタ 2016

ゲストMCにエグスプロージョンを迎え、さまざまなジャンルのダンスが大集結！「本能寺の変」を出演者の方々と一緒に踊ったステージは、まさに“多様性”に溢れ、大いに盛り上がりました。

<参加団体>

NPO 法人日本車いすダンススポーツ連盟、レラの会(アイヌ民族舞踊)、CAPOEIRA BATUQUE JAPAO(ブラジルの伝統芸能カポエイラ)、東京外国語大学朝鮮舞踊部、都立足立特別支援学校×都立荒川商業高等学校、都立七生特別支援学校×都立日野高等学校



【ホールD5】

・小学生人権啓発ポスター完成式典

小学生人権啓発ポスター完成式典では、絵を描いた児童や学校関係者等を招き、交通広告デザインの披露、代表児童による作品紹介などを行いました。

<参加校>

大田区立蒲田小学校、杉並区立浜田山小学校、八王子市立元八王子東小学校、昭島市立共成小学校

・大学生による多文化共生プレゼンコンテスト

大学生プレゼンコンテストは今年で2回目。学生のみなさんによる創意工夫により、昨年よりさらに白熱したコンテストとなりました。

<参加校>

成田浩ゼミ(中央大学)、山西優仁ゼミ(早稲田大学)、山田泉ゼミ(法政大学)、長谷部美佳ゼミ(東京外国語大学)、山脇啓造ゼミ(明治大学)

・ヒューマン・シネマ・フェスタ

ヒューマン・シネマ・フェスタでは、ハンセン病啓発映画上映「ふたたび swing me again」を上映。国立療養所多磨全生園がある東村山市の取組も紹介されました。



(小学生人権啓発ポスター完成式典、大学生による多文化共生プレゼンコンテストの様子)

【ロビーギャラリー】

・障害者スポーツ体験「ブラインドサッカー」

日本ブラインドサッカー協会より2名のコーチを招き、体験を実施。参加者はアイマスクを着用し、伝えることの重要性やコミュニケーションの取り方などを体験することができました。



11月6日(日)

【ホールD7】

・北朝鮮拉致問題解決を願う都民集会

北朝鮮拉致問題解決を願う都民集会では、都知事からのメッセージに続いて、拉致被害者・特定失踪者家族からの訴え、北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」公開収録が行われました。

・坂田おさむ・めぐみファミリーコンサート

ファミリーコンサートには、子どもたちが大集合！法務省の人権イメージキャラクターの「人 KEN まもるくん、人 KEN あゆみちゃん」も駆けつけて、楽しい歌声の溢れるステージとなりました。

・ヒューマン“お笑い”フェスタ

お笑いフェスタは、MCIにエグスプロージョンを迎え、NHK Eテレ「バリバラ」の特別企画「SHOW-1 グランプリ」で活躍中の SHOW-1 芸人たちが、多様性と笑いのあふれるステージを展開しました。



(都民集会、ファミリーコンサート、お笑いフェスタの様子)

【ホール D5】

・障害とサポートを体験しよう！心のバリアフリーワークショップ

さまざまな障害とサポートの体験を通して、障害への理解を深めるワークショップを開催。「多摩の魅力発信プロジェクト」マスコットキャラクターのたまらんにゃ〜も参加しました。



【ロビーギャラリー】

・障害者スポーツ体験 「車椅子バスケットボール」

日本車椅子バスケットボール連盟より2名のコーチを招き、体験会を実施。多くの子供たちをはじめ、都知事も子供たちとのパス交換やシュートを体験。ミニゲームでは見ている方からも熱い応援が飛ぶなど、車椅子バスケットボールの魅力が伝わる体験会となりました！



通し企画

【D5・6ホワイエ】

- ・人権課題パネル展
- ・美大生×電通 人権アートプロジェクト「ポスターで伝える人権」

【ロビーギャラリー】

- ・アール・ブリュット美術展
- ・東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」
- ・高校生・著名人の人権メッセージパネル展示
- ・小学生人権啓発ポスター展示

ホワイエでは、さまざまな人権課題の啓発パネルの展示等を実施。ロビーギャラリーでは、アール・ブリュットの作品展示、パラリンピックの魅力をパネルや映像で伝える「NO LIMITS CHALLENGE」、人権メッセージパネル展示や小学生人権ポスター展示を展開。ロビーギャラリーを通行される多くの方々が、じっくりとご覧になっていました。



【地上広場】

- ・障害者福祉施設の自主製品販売
- ・青空ステージ

地上広場では総合案内テントでイベント案内やスタンプラリー、拉致問題の署名活動を実施したほか、目黒区福祉の店「さんまるしえ」・江戸川区就労支援事業所連絡会・はあとの木(豊島区)による自主製品販売を展開。青空ステージでは、盲導犬・聴導犬・介助犬の紹介や、大道芸人による青空ステージを実施。着ぐるみたちも会場を盛り上げてくれました。

